令和８年度版

足尾小中学校一貫教育グランドデザイン

学校教育目標

夢を持ち、主体的に学び、考える児童・生徒の育成

日光市小中一貫教育のねらい

◎小学校と中学校が連携して教育活 動に取り組むことにより、教職員 の指導力を図り系統性・継続性のある教育により、学力の向上と児童・生徒指導上の課題解決を図る。
◎学校・家庭・地域・関係機関のつながりを深め、共に考え、協力して、学校や地域のよさを生かした特色ある学校づくりを目指す。

目指す児童生徒像

○自ら学び、考え、伝え合える児童生徒
○自他を大切にし、認め合える児童生徒
○粘り強く挑戦し、自立できる児童生徒

目指す教師像

○学校課題の解決に向けて協働して実践できる教師
○確かな指導力、授業力の向上を目指して主体的に学び、実践する教師
○人権感覚と教育愛の豊かな教師
○保護者や地域人材と連携・協働し、地域を愛し、地域に貢献する子どもを育てるために努力する教師

小中一貫教育で期待される効果

◎「学力」の向上
9年間を見据え,小中の接続を意識した指導を実施することが可能。また、小学校全学年に一部教科担任制を導入し、専門性の高い授業を提供
◎「豊かな社会性や人間性」の構築
小中が一同に活動することを通し、互いに思いやり助けあう心を醸成
◎「保護者・地域」との円滑な連携
◎「中１ギャップ」の解消
9カ年を見通した、児童生徒指導を行うことにより、中学進学に対する不安を解消し、問題行動の減少を図る

目指す資質・能力

○考え伝え合える力　○主体的に学びに取り組む力　○高い人権感覚　○自他を理解する力　○正しい判断力　○向上心　○挑戦力　○調整力

	学年	自ら学び、考え、伝え合える児童生徒　（知）	自他を大切にし、認め合える児童生徒　（徳）	粘り強く挑戦し、自立できる児童生徒　（体）
Ⅰ期 基　礎 基　本 定着期	1 2 3 4	○人の話をしっかり聞くことができる ○考えたことを表現することができる ○基礎・基本の事項を習熟できる 学習規律の定着	○誰とでもなかよくできる ○人に優しくできる ○協力して活動することができる 規範意識の定着	○自分のことが自分でできる ○規則正しい生活ができる ○運動の楽しさを味わい、体力を高めることができる 基本的生活習慣の定着
Ⅱ期 活用期	5 6 Ⅰ	○身につけた基礎的事項を活用することができる ○コミュニケーション活動を通して考えを深めることができる 自ら学び、考え、伝える力の育成	○正しい判断をして行動することができる ○他とのちがいや、相手の良さを認めるとともに、自らの思いを伝えることができる 自他理解・判断力の育成	○目標を持ち、自らを高めるために継続的に努力することができる ○生活習慣を見直し、目標を持って計画的な生活をすることができる 自己調整力・挑戦する力の育成
Ⅲ期 発展期	Ⅱ Ⅲ	○学習に対して自ら課題を設定し、主体的に学ぶことができる ○社会に一員としてあるべき姿を考え、地域に貢献する意識を持つ 主体的な学びと思考力の育成	○自他の違いを認め、自分の考えや思いを伝え、他者との望ましい人間関係を築くことができる ○命の大切さや健康に関心を持ち、生活に生かすことができる 表現力・判断力・実践力の育成	○心身の健康に関する知識を身につけ、自らの課題を解決することができる ○目標の達成に向けて自己を調整し、達成に向けて継続して努力することができる 自己指導能力の育成
教員の資質能力の向上		○学習指導要領に基づいた学習方法・評価の改善 ○個別最適な学びの確保	○人権感覚の醸成と個に応じた指導 ○地域人材、各関係機関との連携・協働と地域資源の活用	○危機管理能力の向上 ○命や健康の大切さに対する指導力の向上

評価	P	めざす資質能力を意識した計画になっているか	計画時の意識
	D	めざす資質能力を育成できる実施状況であったか	実施の際の意識
	C	めざす資質能力が育っていたか	反省を行う際の意識
	A	めざす資質能力がさらに育成されるようにに改善が加えられたか	さらに育成しようとする意識